

日本海に遊ぶ

京都大学水産実験所職員
上野 正博

海は大きなゴミ箱

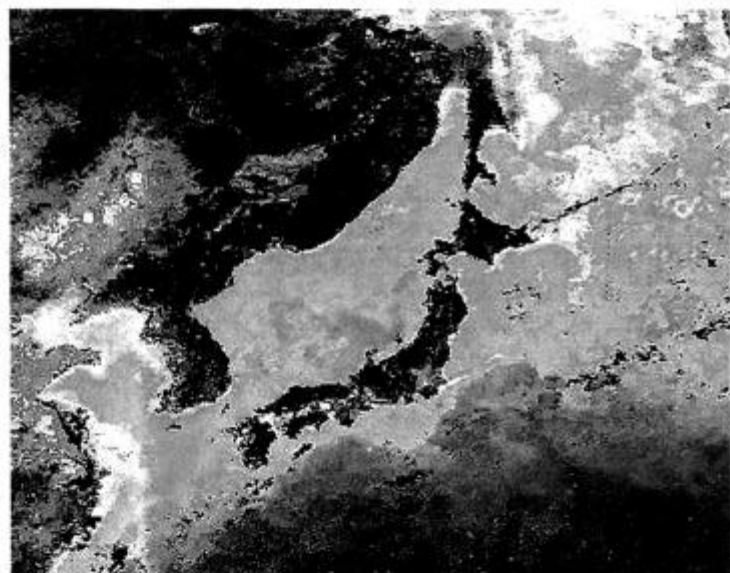
栄養素だけではありま
せん。海の塩辛さの元
素はほとんどが海底に
なるマグネシウムや
ナトリウムなど、海に
溶けている元素のほと
んどは長い年月をかけ
いのです。

「森は海の恋人」を
合言葉に、最近たくさ
んの漁師さんが植林活
動に取り組んでいます。
たしかに海の生物生産
を支えているのは、陸
がもたらす豊富な栄養
といろんな元素。水が
溶けて川の水がたくさ
ん流れ込む北極圏や沿
岸部は植物プランクト
ンがいっぱい。これに
対して陸からの栄養補
給が少ない南の海は、
青く透き通ってきれい
だけれども、生物はと
ても少ないのです。

陸から海に運ばれる
のは窒素やリンなどの
でしよう。実は、毎
年、大量に流れ込む元
素はほとんどが海底に
堆積していきまます。こ
のために海に溶けてい
る元素の量は変わらな
いのです。

海が海底にしまつてく
れるおかげで、生物の
暮らしは成り立ってい
ます。窒素やリン、カ
ルシウム、亜鉛、鉄、
どれをとつても生物が
育ち暮らしていく上で
なくてはなりません。
でも、どれが多すぎ
てもダメ！

雨が洗い流して川が
海に運んだ陸上の余分
な元素を海底にしまつ
てくれる海は、地球上
に暮らすすべての生き
物にとって大きなゴミ
箱のようなものです。
石油の大量消費で成り
立っている私たちの暮ら
しは、海底にしまつて
あるゴミ(石油はプラ
ンクトンの死骸からで
きてます)を掘り起こ
してバラ撒いてるよう
なものですから、いろ
んな環境問題が起こる
のは、まあ当たり前。



衛星から見た植物プランクトン分布(白
いところに多い)